



コスモス

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

稲刈り体験<5年生>

晴れ渡った青空の下、川上センター横の田んぼで、6月の初めに田植えをさせていただいた稲を刈り取る体験を5年生がさせていただきました。

暑さを避けるため朝9時前に開始しましたが、午前中からかなり暑くなったので、水分補給をこまめに行ったり休憩したりと、熱中症対策を行いながら実施しました。また、稲や雑草等へのアレルギー対策も行いました。

まずは、鎌を使っての刈り方を教えていただきました。稲の株を土から20センチぐらい上の所を掴んで、手と土の中間ぐらいに鎌を当て、鎌を引くように動かし、ザッザッと稲を刈ります。ザッザッと2回ぐらいで刈ればかなりの熟練者です。初めはみんななかなか刈れずに、2〜3本ずつ刈り取るという感じでかなり苦労していました。しかし、さすが5年生。何度もやっているうちに、見る見る間に上達してきました。1回のザッで2本ぐらいしか刈れなかったのが、5〜6本、いや10本ぐらいの稲を刈ることができるようになってきた子が何人もいました。そのため、仕事のスピードも上がり、初めの予定よりも広い面積を刈り取ることができました。

交代しながら10分×3回行いました。疲労のことも考えて3回目は、「無理はしなくていいよ。」と声を掛けましたが、ほとんどの子が刈っていました。「もっとやりたいです。」という子もいました。ザッザッと鎌で稲を刈るコツが分かってきて、面白くなってきたのだと思います。残念ながら時間を延長することはできませんでしたが、疲れすぎない範囲で、また、稲刈りの大変さやコツや楽しさを味わえる体験をさせていただくことができました。

ご協力いただいた地域の皆様、誠にありがとうございました。

喫煙防止教室<6年生>

専門家による「喫煙防止」の出前授業を6年生が行いました。講師は本校の学校薬剤師の近藤薬剤師さんです。近藤薬剤師さんには、毎年、喫煙防止について、授業を行っていただきます。今回もたくさんのデータを基に、6年生の子どもたちにも分かりやすいスライドを作っていただき、授業を行ってくださいました。ありがとうございました。

子どもたちは、喫煙の害や怖さについて学び、タバコを吸わないことの大切さをしっかりと考えていました。きっと行動につなげてくれると思います。

メダカ係への責任感

児童玄関の水槽でメダカが泳いでいます。学校全体のメダカなので、学期ごとにメダカ係を募集して主に餌やりをしてもらっています。1学期は、3年生以上の希望者をお願いしていました。どの子も責任をもって仕事をしてくれました。おかげで、メダカたちは元気に育ちました。

2学期は、1、2年生にも門戸を広げて募集したところ、自分から応募してくれた子が何人もいました。うれしいことです。1学期に係をしてくれた子からは、「2学期もやりたいです。」という要望があり、人数的にも調整がついたので、引き続きやりたい子と、初めてチャレンジする子とでがんばってもらうことになりました。

昨日の給食の後、職員室に2年生の子がやって来て、私に話があるというのです。聞いてみると、「今朝のメダカの餌やりを忘れてしまっていました。」

とのことでした。とてもつらそうな表情でした。私はこのように言いました。

「餌をあげるのを忘れてしまってメダカにつらい思いをさせてしまったことや、メダカ係の仕事を忘れてしまっていたことに、責任を感じて言いに来てくれたんだね。よく言いに来てくれたね。大丈夫だよ。」

今日の昼の係の人と一緒に餌をあげてくれたらいいよ。」

いっしょにメダカの水槽に行くと、ちょうど昼の係の1年生の子が来たのでそのことを話すと快く承諾してくれました。そして、2つの水槽を分担して餌をあげてくれました。2人ともありがとう。

